

令和3年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	2年必修	教科	国語	科目	現代文B	単位 数	2
教科書	大修館 精選現代文B			使用教材	・新版四訂 新訂総合国語便覧(第一学習社)・音と形で覚える漢字の演習(明治書院)・現代文単語(数研出版)・TOP2500(いっずな書店現代評論20(桐原書店))		
授業 担当者名							

		指導内容	指導目標	予定 時数
一学期	中間 考査	評論「対話の精神」 評論「ミロのヴィーナス」	<ul style="list-style-type: none"> 文章を的確に読み取り、全体を把握する力を身につけさせる。 対比・筆者の主張を読み取らせ、「対話の重要性、および「対話」の喜びを理解させる。 筆者が主張を述べるために、どのような論じ方をしているかを辿りながら、具体例の効果的な活用のしかたを理解する。 社会学的な思考を学び、視野を広げさせる。 	14
	期末 考査	小説『山月記』 詩歌「樹下の二人」	<ul style="list-style-type: none"> 独白という形式に着目させることで、主人公である李徴の心情の変化を捉えさせる。 景物を表す語句に注目させることで、正確な情景描写の読み取りをさせる。 漢語や和語を効果的に用いた、『山月記』独特の表現を味わう。 作者独自の世界観と妻に注ぐ愛情を読み取り味わう。 	14
二学期	中間 考査	小説『こころ』	<ul style="list-style-type: none"> 二人の「私」に着目させることで、全体の骨組み(構造)を捉え、場面や人物などの設定が、話の展開にどう働いているかを読み取らせる。 「寂寞」という語に着目して先生の心情を読み取らせことを通じて、近代人の「孤独」について考えさせる。 	14
	期末 考査	評論「『考える葦』であり続ける」 近代の文章『たけくらべ』	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を読み取り、情報やメディアに対する理解を深める。 読み取った事を踏まえて、情報化社会との関わり方について自分の考えを持つ。 短歌に込められた作者の心情を読み取る。 雅俗折衷の文語体の文章に慣れ親しみ、描かれた人物・情景・心情などを読み味わい、ものの見方・感じ方を広げ深める。 	14
三学期	学年 末考査	小説『巨人の接待』 評論「世界は、今」 詩歌「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や情感を読み取り、言語や文化、平和や戦争といったテーマについて、筆者が何を描こうとしたかを考える。 文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容を捉える。 現代の国際社会における文化の多様性について考える。 詩の理解と鑑賞から、作者宮沢賢治の世界観に触れる。 	14
	計			70

評価の 観点・方法	関心意欲をもって取り組んだか、語句の正確な理解力・文章の的確な読解力・豊かな鑑賞力が身についたかを、定期考査を中心に、提出物・授業態度・感想文・小テスト等で総合的に評価する。
--------------	---